■鹿島テクニカルセンター合同研修会アンケート　　2026 年 9 月 18 日

□S 造・階段エリア

・普段施工図としては見えてこない仮説のピースやスタッドボルトなどを実際に見ることができて今までよりも鉄骨造に対する理解が深まった。
平面でイメージしづらい部分などをいろいろな角度で見ることができてとても勉強になりました。
・部材の名称とその役割を簡潔に説明頂いたので、鉄骨の経験が少ない私でも理解できる内容でした。
デッキの説明でフラットデッキ、トラスデッキ、構造デッキのコンクリート施工前の状態を確認しながら、講師の方々から具体的な説明を聞けたので、とてもイメージしやすかったです。
施工図チェックの注意点として、デッキの架け方の違いで段差が作れずスラブを上端フカシでしか対応できないことや、アンボンドブレースがあるスパンは壁が直行できなくなることは実践的な話で今後に活かせていきたいです。
階段は意匠的な見せる為のアンカーボルトの隠し方等が参考になりました。施工図チェックの注意点として、変更する際に法規を第一優先で確認していくことが大切だと感じました。
・鉄骨の部材名などうろ覚えのものがあったりしたので、実物のモックアップを見ながら説明していただいたのはとても勉強になり覚えやすかった。
・鉄骨部材名の紹介時に実物だけでなく参考資料として製作図や施工図などを用意して、図面と現物を見比べながらできればもっと理解や知識を深めやすかったかもしれない。

□RC 造・EV エリア

・鉄筋の組み方や、型枠の組み方など近い距離でじっくり見ることができてよい経験になった。
施工スペースや仮設材なども考えながら施工図を進めていけるようにしていきたい。
また、普段見ることができない稼働している EV シャフトの中を見ることができたのはとてもよかったと思う。
・地中梁の配筋で梁主筋、柱主筋、アンカーボルト、杭頭補強筋が干渉しないように鉄筋が組まれているのが確認できてとても参考になりました。Cad で配筋図を書いたことがありますが、cad 上で見るより実際の方が混みあっているように感じました。PC スラブと在来スラブを比較し、PC スラブの場合はスラブ開口も工場で加工する必要があるため、早い段階の総合図打合せで設備と調整する必要があることが理解できました。PC 梁でワイヤーの引っ張る方と固定されている方をモックアップで確認できたので、今後 PC 梁をチェックする機会があれば参考にしていきたいです。ただ、接続する柱の主筋の干渉しないのか、モックアップの柱は各出隅に各 1 本ずつ鉄筋ではない部材が立ち上がっていたのが何かが具体的に知りたかったです。
EV のモックアップでは初めてシャフトの中を見ることができて、イメージしやすくなりました。
・他の項目でもそうだが、写真や図面上でしか見る機会がないのでモックアップを通して講師の方に直接教えていただけたのは良かった。
・特にこのエリアは EV ピットの EV 稼働時の状態を見られたり、型枠は外している状態での配筋だったりと実際の現場でも見る機会がないものを見られてとても良かった。

□外装・屋上エリア

・外装材とその下地、サッシの取り合いの断面モックアップがとても分かりやすくてよかった。
現場で施工している外装材を見ることはあっても、サッシもついた状態で切断してその断面を見るということは難しいので貴重な機会でした。
また、普段行く機会が少ない屋上や設備機器スペースなども見ることができ、業務を進める上でイメージしやすくなった。
・最初に座学で ALC,ECP 等の説明を受けてから実際のモックアップを確認できたので理解が深まりました。特に ALC は塗装で止水性を持たしていて中に水が入らない想定に対して、ECP は逆に中に浸水する想定をしていて、中の空洞で水を落として下部のパイプで排水する話を聞いて、外壁部材で止水方法が異なる点が興味深かったです。
打ち放しコンクリートの外壁で P コンや型枠ベニヤのライン、建具上下の誘発目地及びスラブと壁の打ち継ぎ目地を実際に見て、中途半端に目地が入ってしまう時は設計者、施主に説明が必要なことが確認できました。屋上のモックアップではバルコニーのスラブ小口に下地を持ち出すことでスラブの施工精度によらずルーバーが縦に綺麗に通るようにしているのがとても参考になりました。
・他のエリアと違ってモックアップではなく 1/1 スケールを見ながら、　納まりの説明など現場ベースで説明していただけたのは勉強になった。
・前半の座学で ALC や ECP の納まりの説明の後、モックアップにて実物の納まり（固定用金物や水抜きパイプ）を見る事ができたのも良かった。
　特に外壁や屋根のモックアップで建具開口部の切り口を見られたのが製作図の縦断面と同じようになっていてイメージしやすかった。

□内装エリア

・施設内の天井や壁など様々な部分がモックアップであったり、施工途中の状態で見ることができるようになっていて普段製作図や詳細図などで見ているものを 1/1 スケールで見ることができとても分かりやすかった。
・断熱材では工事で最低吹き厚確認方法として一定ピッチにピンで確認していくやり方や吸音材では躯体に接着でピンを付けて吸音材を固定し、下部は吸音材(グラスウール)が濡れないように少し立ち上げ、見切を通している等、とても具体的なところまで説明していて理解が深まりました。
システム天井では全パネルが点検する際外すことができる点や吊りボルトが設備臓物と干渉しないようにインサートを配置する際、パネルサイズが決まっているので、在来よりも調整しづらい点が確認できました。
下地関係では建具周りの開口補強の組み方や天井下地の組み方、１枚貼りでは天井割でボードのジョイント部はバーサイズが大きくなることが確認できました。
長い廊下の壁は誘発目地をピッチで入れていき、ひび割れを誘発する必要があることが確認できました。
・１グループで回ったため少人数で研修を受けることが出来て、他のエリアより密度よく学べたと思う。
・実物とモックアップ、それぞれを駆使しながら参考資料の建具の図面を見ながら説明していただきイメージしやすく聞きやすかった。

□全体

・全体を通して、実際に現物を見ながら講師の方々の解説を聞くことができる今回の研修システムはとても分かりやすく、座学ではわかりずらい部分を目で見てしっかり理解することができるのでとても良いと思いました。
躯体から内装までを様々な施工段階で見ることができる機会はあまりないですし、実際の現場で見学する機会があったとしても安全面の都合などでここまで時間をかけて見ることはできないと思うのでとても良い経験になりました。
・作図している図面を実際に現場に出て確認する機会が中々作れていなかったので、今回のモックアップを見学できたことはとても参考になりました。フラットデッキと構造デッキ、在来と PC を並べて比較できるので、それぞれの注意点を混合することなく覚えることができました。普段見ることができない EV シャフトの中や支保工が組まれている状態を確認できて、リアルな現場の臨場感を感じることができました。
講師の方々の説明もとても分かりやすくて、今後の業務に活かしていけそうな各分野の注意点等を多々して教えて頂いた。
私は内装の仕上関係は前現場で経験していて、現在常駐している現場では鉄骨と外装が担当で丁度勉強している最中だったので、鉄骨・外装は少し知識はあるが経験不足の状態でこの見学に参加しました。内装は知っている内容が多かったので、復習することができてより知識を定着することができました。鉄骨・外装は仕事で感じていた疑問点をモックアップで確認しながら講師の説明を聞くことで、最初から何も知らない状態で聞くよりもより学ぶことができました。1,2 年目の時に見学するよりも 5 年目の今、見学できたことが今後に活かしていけると感じました。
そして、最後の鹿島建設の方々のお話で我々参加者への激励の言葉にはとても感激しました。私たち若手施工図屋のことを「今後の建設業界にとって貴重な存在」と話して頂いたので、その期待に応えられるように日々精進をしていきたいと思いました。
講師の方々の説明もとても分かりやすくて、今後の業務に活かしていけそうな話を多々して頂いた。
・今の時代、安全面などから現場に常駐していても現場見学の機会が中々ないので今回のような研修会場で講師の方々に目の前で説明していただけたのはとても勉強になったし、普段図面や写真でしか見ない中、実物を見ながらの説明はイメージしやすかったと思う。
・今回の研修では 4 項目受講し、1 項目 1 時間程度の時間だったが参加人数の多かった S 造、RC 造はもちろん、少人数の 1 グループで行った外装、内装項目でも時間が足りず一部省略する内容があったらしいので受講項目を減らして 1 項目に対してもう少し時間を増やしても良いかもしれないと思った。

□その他感想や要望等自由記入

・各項目でもう少し時間に余裕があるとより良い研修になるのではと思いました。
・今回は急遽、2 班合同で行動することになったので致し方無いとは思いますが、やはり 1 班で行動した方が移動がスムーズになり、質問もしやすいと感じました。
今回の研修はとても為になったので、今後も引き続きこのような機会を作って頂きたいと思いました。

●準備する時間も少ない中で、講師の方々や諸々の手配を行って頂いた方々に感謝致します。
当日の皆さんからのコメントにもありましたが、若手社員にはとても良い機会だと思いました。
現場に常駐していても、安全面などから中々簡単には現場を出歩けないので、この施設を利用させて頂く機会がもっと増えると良いと思います。
ありがとうございました。

■写真（コメント等自由記載）

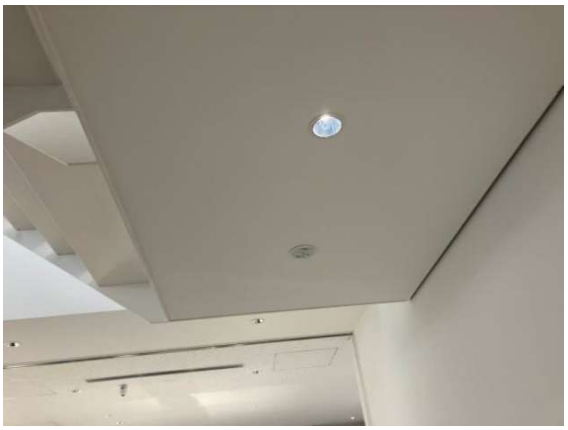


外装材とサッシ取り合いの断面はここでしか見ることができないと思うので
とても良いモックアップだと思いました。

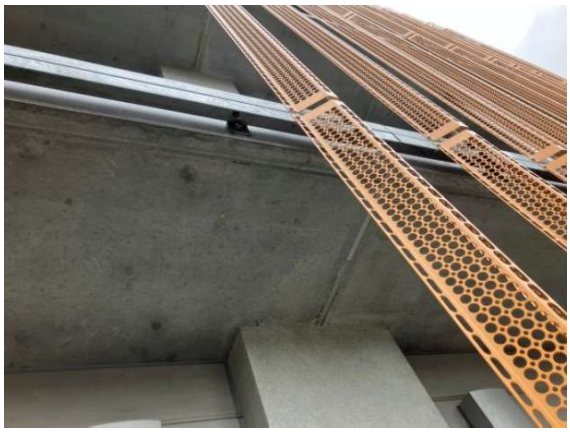
■写真（コメント等自由記載）



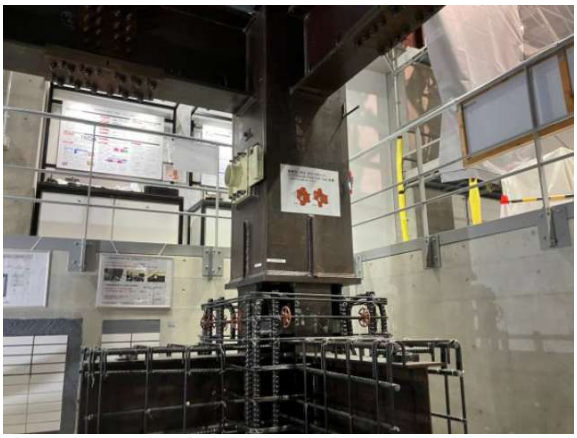
アンボンドブレース部材にも通しダイヤフラムを設けていた。



階段中間踊り場下部に設備器具配置されている
壁から離れているが、
配線をどう接続しているのか気になった。



スラブ小口に下地を設けて、躯体精度によらずルーバーが縦に通るようになっていた。



圧入口及び空気孔を確認できた。





PC 梁のワイヤー引っ張る側と固定側
が確認できた。



ECP の水抜きパイプを確認できた。